

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【公開番号】特開 2016-54712 (P2016-54712A)
 【公開日】平成 28 年 4 月 21 日 (2016.4.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-024
 【出願番号】特願 2014-185464 (P2014-185464)
 【国際特許分類】

A 0 1 K 89/01 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 K 89/01 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 24 日 (2017.7.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

図 1 及び図 2 に示すように、第 2 ベール支持部材 2 2 は、第 1 端部 2 2 a と第 2 端部 2 2 b とを有する。第 1 端部 2 2 a は、第 2 ロータアーム 1 2 3 に揺動可能に装着される。第 2 端部 2 2 b は、ベール 2 3 の第 2 端部 2 3 b を支持する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

図 3 に示すように、ベール 2 3 は、略 U 字状のステンレス合金製の部材である。ベール 2 3 は、スプール 1 3 0 の外周面に沿って外方に凸となるように湾曲している。このベール 2 3 は、第 1 端部 2 3 a にカバー部 2 3 c を有している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

このカバー部 2 3 c は、支持軸 2 4 を介して、第 1 ベール支持部材 2 1 に支持されている。また、ベール 2 3 の第 2 端部 2 3 b は、第 2 ベール支持部材 2 2 に支持されている。釣糸案内機構 2 が糸開放姿勢から糸案内姿勢に復帰したときに、ベール 2 3 は、釣り糸をカバー部 2 3 c を介してラインローラ 3 に導く。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

支持軸 2 4 は、第 1 ベール支持部材 2 1 とベール 2 3 のカバー部 2 3 c との間を延びる

。支持軸 2 4 は、筒状部 2 4 1 とボルト部 2 4 2 とを含む。筒状部 2 4 1 は、軸部 2 4 1 a と頭部 2 4 1 b とを有している。軸部 2 4 1 a は、円筒状であって、内周面に雌ネジ部が形成されている。頭部 2 4 1 b は、軸部 2 4 1 a よりも径が大きい。この頭部 2 4 1 b がカバー部 2 3 c と当接することによって、筒状部 2 4 1 の軸方向の移動が規制される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

第 1 及び第 2 規制部材 7, 8 は、ベアリング部材 4 の軸方向の移動を規制する。詳細には、第 1 規制部材 7 は、軸方向において、ボール 2 3 のカバー部 2 3 c とベアリング部材 4 との間に配置される。このため、第 1 規制部材 7 は、ベアリング部材 4 のカバー部 2 3 c 側への移動（図 6 の左側への移動）を規制する。また、第 2 規制部材 8 は、軸方向において、第 1 ボール支持部材 2 1 の第 2 端部 2 1 b とベアリング部材 4 との間に配置される。このため、第 2 規制部材 8 は、ベアリング部材 4 の第 1 ボール支持部材 2 1 側への移動（図 6 の右側への移動）を規制する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

第 1 シール部 5 1 c は、径方向において、第 1 規制部材 7 と間隔をあけて配置されている。すなわち、第 1 シール部 5 1 c の内径は、第 1 規制部材 7 の外径よりも大きい。このため、第 1 保持部材 5 1 が回転軸 O 周りに回転するとき、第 1 シール部 5 1 c は第 1 規制部材 7 とは実質的に接触しない。第 1 シール部 5 1 c の内周面は、第 1 規制部材 7 の外周面と対向している。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

第 2 シール部 5 2 c は、径方向において、第 2 規制部材 8 と間隔をあけて配置されている。すなわち、第 2 シール部 5 2 c の内径は、第 2 規制部材 8 の外径よりも大きい。このため、第 2 保持部材 5 2 が回転軸 O 周りに回転するとき、第 2 シール部 5 2 c は第 2 規制部材 8 とは実質的に接触しない。第 2 シール部 5 2 c の内周面は、第 2 規制部材 8 の外周面と対向している。

【手続補正 8】

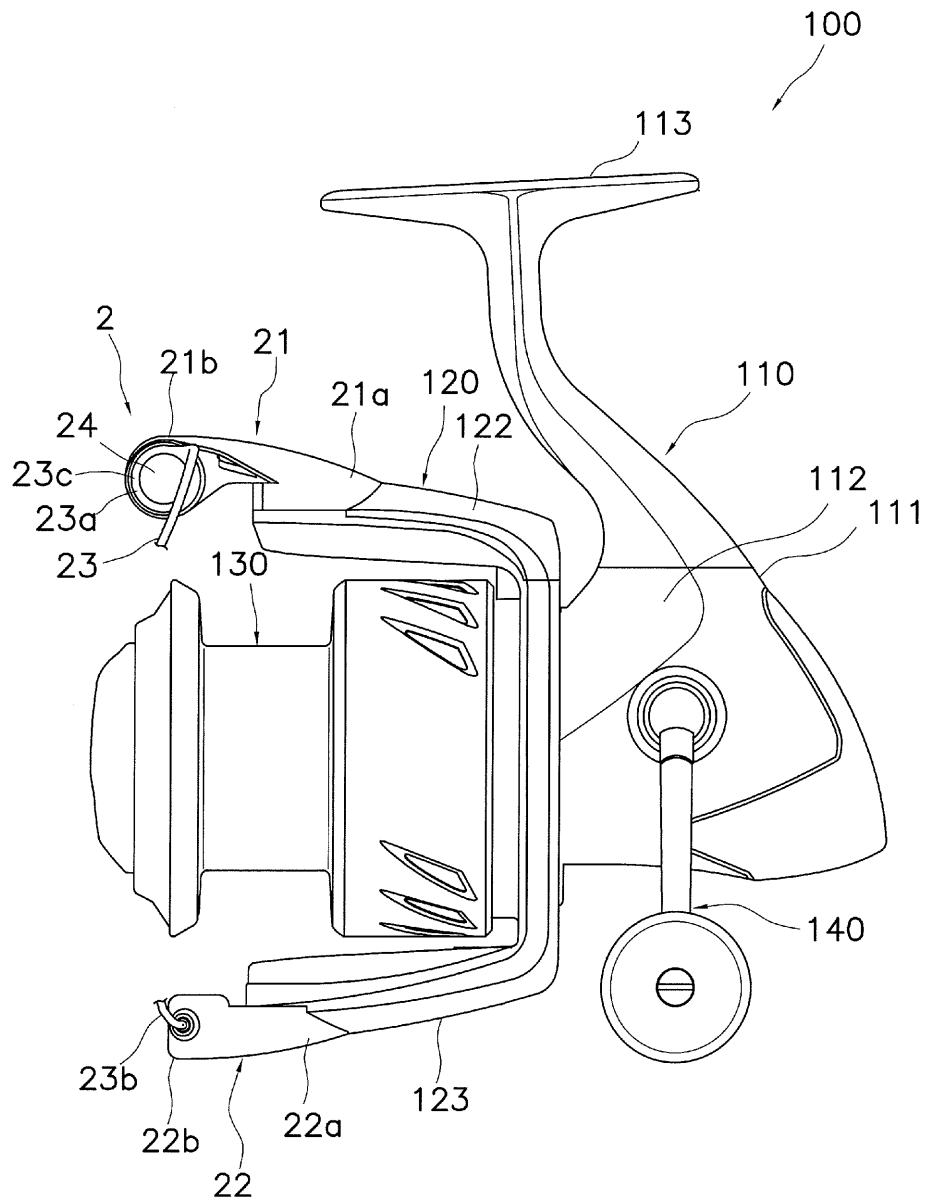
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【手続補正 9】

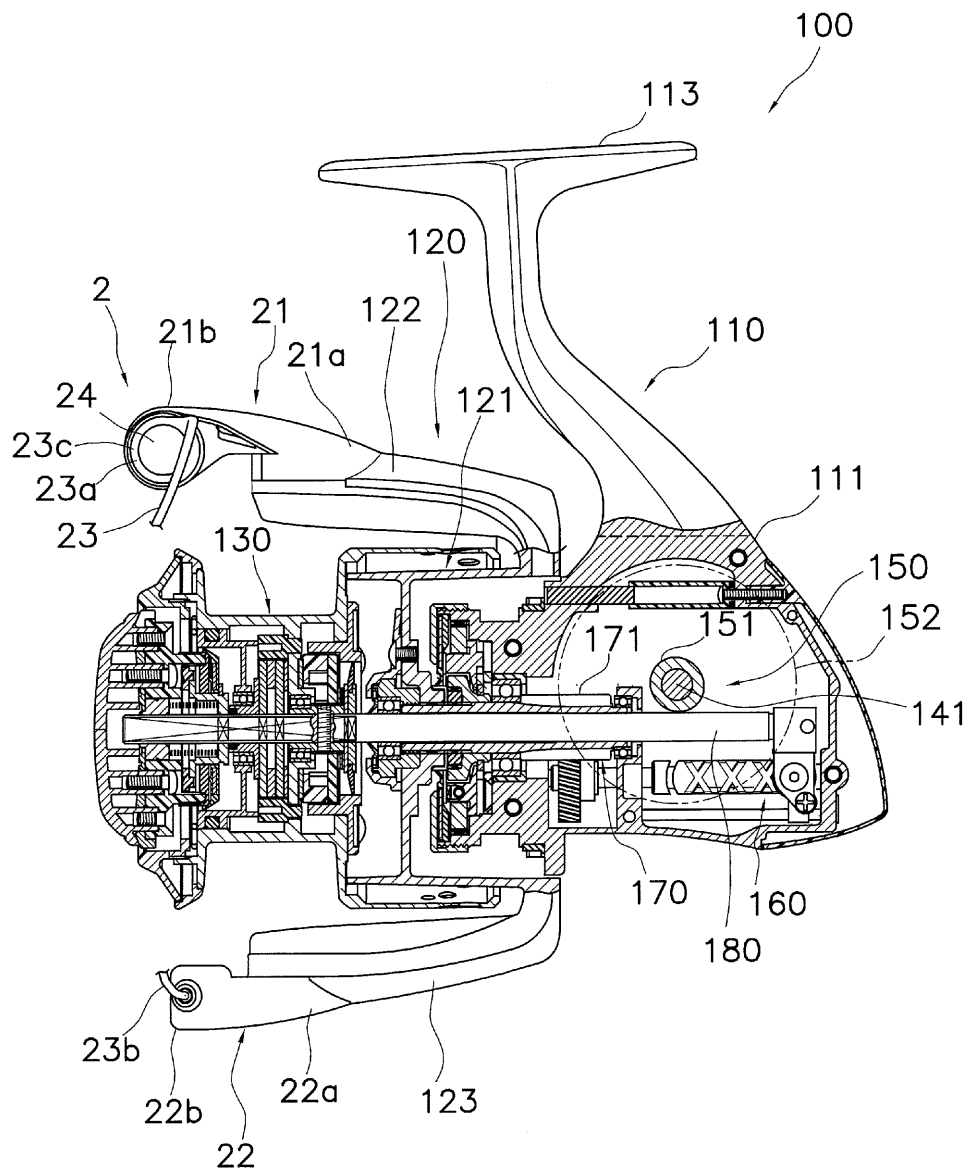
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 1 0】

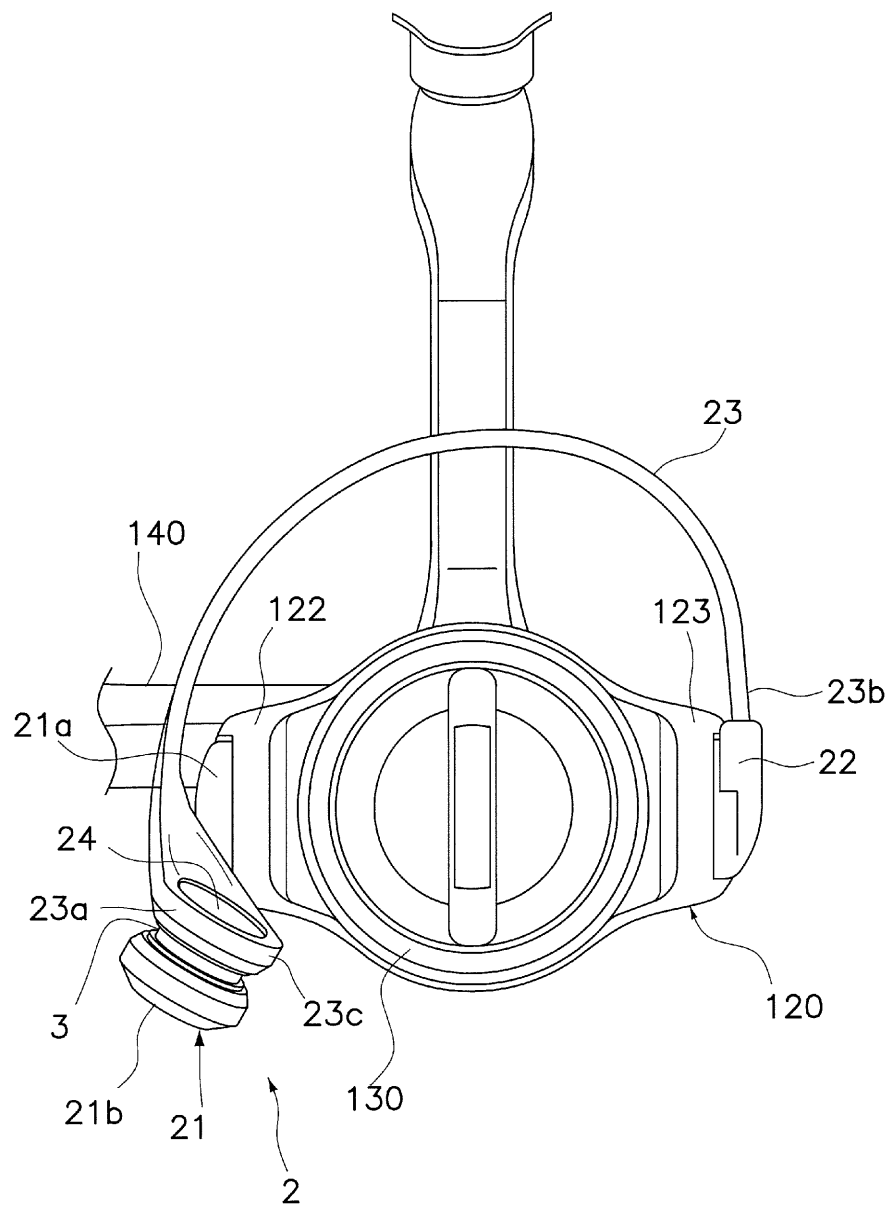
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】



【手続補正 1 1】

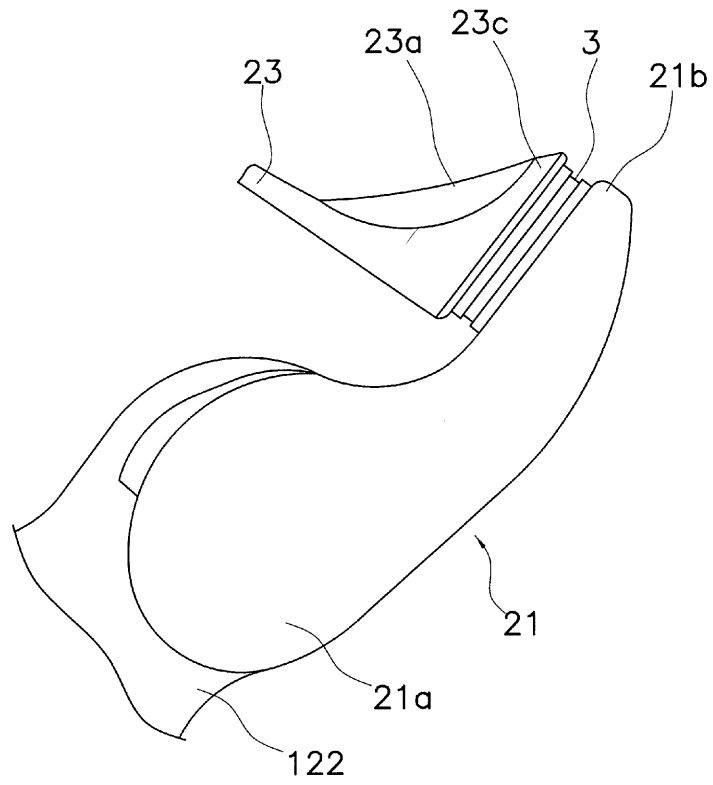
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】



【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】

